

# 北海道積丹半島産 *Draparnaldiopsis* 属 について

秋 山 優\*

M. AKIYAMA : Report on *Draparnaldiopsis* sp.  
found in Shakotan, Hokkaido

SMITH & KLYVER, 1929. によつて設定されたこの *Draparnaldiopsis* 属は、その当初 California 州 Huntington 湖をその type locality とし、*Drap. alpina* SMITH & KLYVER を、その唯一の種とする極めて特異的な淡水産藻類のひとつとして報告されていた (SMITH, 1933. Freshwater algae of the U. S. p. 397)。その後 MITRA, 1943.; SINGH, 1945. などにより *Drap. indica* BHARAD. についての形態的ならびにその生活史についての報告がみられているようである。

筆者は最近の調査(1956年7月)によつて、北海道積丹半島美国近郊の渚水からもこの属の産出することを知つた。なおこの属内にある種についての総合的な適切な文献をもたないので、種についての同定は行なわれてないが、紙上を借りて御教示を御願ひ申しあげる。

*Draparnaldiopsis* 属はその形態上の形質は、極めて *Draparnaldia* 属に類似しているのであるが、ところがこの属では *Draparnaldia* 属にみられるような main axis 分枝がみられない事、またさらに main axis を構成する細胞が比較的長いものと短いものが、交互に配列する事などがみられている。また *Draparnaldia* 属にみられるような fascicule は main axis の短い細胞にのみ附着しているというのも、この属特有の形質ともいえよう。

今回採集されたこの *Draparnaldiopsis* は、水田地帯への小灌漑溝内にみられたもので、他の *Draparnaldia glomerata*; *Ulothrix zonata* などと共に小フロラを構成していたものである。

おわりに Table 及び図を以て今回採集された *Draparnaldiopsis* についての記載とする。

---

\* 島根大学文理学部生物学教室

Description on the thallus of the *Draparnaldiopsis* sp.  
found in Shakotan, Hokkaido.

main axis				
long cells		short cells		chloroplast
leng.	bread.	leng.	bread.	
18-20 $\mu$	18-23 $\mu$	8-10 $\mu$	18-23 $\mu$	zonate with several pyrenoids.

fascicules				
cells		branching	apices	chloroplast
leng.	bread.			
18-20 $\mu$	5-8 $\mu$	dichotomous	with hair	laminar parietal, with single pyrenoid.

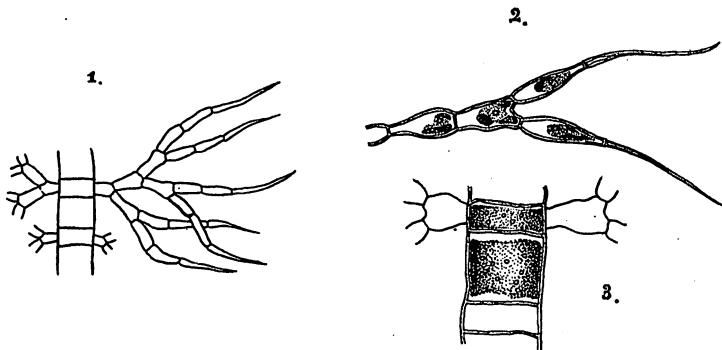


Fig. 1. main axis with fascicules. ( $\times 200$ )  
 2. long and short cells of main axis. ( $\times 400$ )  
 3. portion of fascicle and its apices. ( $\times 400$ )

### Résumé

*Draparnaldiopsis* sp. found in Shakotan are described with the table of characteristics and the text-figures.

### 文 献

SMITH, G. M. (1933, 1950): The fresh-water alg. of the U. S.